

令和2年度南薩地域保健医療福祉協議会議事

議事項目	キ 精神障害者の地域移行・地域定着支援について
概 要	<p>○ 精神障害者の地域移行・地域定着支援について</p> <p>国が示している「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」を目指し、「精神障害者地域移行・定着推進会議」（協議の場）の開催や、ピアサポーターの養成を行った。</p> <p>1 南薩地域の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患による入院患者の推移 R元：1,234人(対前年+20人) ・平均在院日数 R元：440日(対前年△33日) ・1年以上の長期入院患者の推移 R元：847人(対前年△16人)【うち65歳以上602人(対前年+5人)】 ・入院後3ヶ月、6ヶ月、1年時点での退院率(R2の目標値) H29：3ヶ月 43%(69%以上)、6ヶ月時点63%(84%以上) 1年時点81%(90%以上) <p>2 令和2年度の取組</p> <p>(1) ピアサポーター養成研修会 ・指宿保健所 2月22日(月) ・参加者 2人</p> <p>(2) 体験談発表・交流会について 南さつま市民生委員・児童委員協議会定例会で体験談発表 ・市民会館 6月1日(月) ・対象 民生委員・児童委員 63人</p> <p>(3) 戦略チーム会議について ・コロナ下のため7月書面開催以後中止</p> <p>(4) 地域移行推進・定着推進会議について 本会議を医療、保健、福祉の「協議の場」として、精神障害者が地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるよう、各市自立支援協議会と戦略チーム会議が連動して、専門家や当事者等により、個別支援から地域の課題を抽出し、課題解決を図る方策について検討を行い、医療、障害福祉・介護、住まい、社会参加(就労)、地域の助け合い等について包括的に確保された「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 令和2年9月18日(金) 推進会議(「協議の場」)のあり方について説明 地域の課題の共有(地域診断、戦略チーム会議、各市の第5期障害福祉計画等から)と地域ビジョン(地域のあるべき姿)と具体的な目標設定について検討 ・第2回 令和3年2月15日(月)オンライン開催 活動状況の報告、各市障害福祉計画策定状況報告、意見交換を実施 <p>3 令和3年度の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引続き、当事者、医療機関、各市の自立支援協議会等と連携し実施 ・第6期障害福祉計画の目標値に「地域での平均生活日数」が加わったため、「地域定着」の状況把握を行う。また、65歳以上の1年以上の入院患者への対応についても現状把握を行い、課題を検討する。
担 当	地域保健福祉課 地域支援係(上室・坂田) 連絡先：0993(53)8001